

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300047
事業所名	グループホーム はっぴい

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「元々祭りが盛んな地域で、ホームでは地元青年団の伝統行事『黒ごま』を披露してもらった」と事務長は語る。地域の祭り・近隣学校の催し・地域の花火大会には入居者も参加している。管理者は「地域とも顔なじみとなり、グループホームへの理解も進んできた」と語り、無言で外出した入居者も近所の一報で事なきを得たと例を挙げる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 職員、家族・ボランティア代表・民生委員・地域代表・地域包括職員・市職員・をメンバーとし、隔月に年6回の開催が確認された。昨年の目標達成計画『週6回の入浴』も冬場以外は実行できた。継続的に行事報告・事故報告（詳細・原因究明・症状・経過・結果）が報告されている。外部評価結果の報告もされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市役所には週一回事務長が出かけ、ホームの情報提供・要請・報告や、行政手続等連携を図っている。他のグループホームで、いいアセスメントシートがあることを聞き、ホームでも採用した。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年一回は家族会を開催し、日ごろの入居者の様子をスライドで発表し、好評を博している。担当者以外でも職員は入居者の現状を把握しており、どの家族の要望にも応えらる。家族向けのホーム便りは毎月発行され、届けられている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎	○		